



「ボランチわ」は日産スタジアムボランティア情報誌です

## ラグビーワールドカップ 2019 に向けて熱いチャレンジ始まる！ ～ラグビー日本代表「リポビタンDチャレンジカップ 2017」オーストラリア代表戦～



ラグビーゴールポストが設置された日産スタジアム(右が日本代表サイド)

11月4日(土)4万3千人のラグビーファンが応援する中、「リポビタンDチャレンジカップ 2017」ラグビー日本代表 対 オーストラリア代表の一戦が行われました。この試合の2日前にはラグビーワールドカップ 2019 日本大会の試合日程や試合会場が発表され、日産スタジアムでは11月2日の決勝戦を含めて7試合の開催が決まりました。そのこともあってスタジアム内は多くの観客の熱気に包まれ、大いに盛り上がりました。

ボランティア活動前のミーティングでは倉知公園管理局長から、「ラグビーワールドカップ 2019 では世界各地から大勢の観客が来場され、その中でボランティア活動をすることができる特別な機会です。今日は初めてラグビーの試合のボランティア活動を行います。多くのことを経験して学ぶこととなります。ボランティアの皆さんが明るく元気に笑顔でお客様に接し、活動に参加して頂きたいと思っています。」とご挨拶がありました。運営ボランティアは過去に経験のない大規模な140名が参加して、東ゲートと西ゲートのサンプリング活動を行いました。初めてのラグビー日本代表戦のボランティア活動を通して、来場者からの問い合わせを受けることで多くのことを学ぶことができました。試合は残念ながら日本代表が30対63で敗れましたが、日本代表チームとしては2019年に向けた課題を見つけ、手応えを感じることができた試合でした。多くの観客の中、長時間活動された運営ボランティアやスタジアム職員の方々、大変お疲れ様でした。(久保 勝美)



**ボランティアの笑顔で、スマイルスタジアム**

## JA 全農チビリンピック 2017 開催

～ 全国からスポーツ好きの小学生が日産スタジアムに集まりました ～



5月5日(こどもの日)、スポーツが大好きな多くの小学生が全国から日産スタジアムに集まって、JA 全農チビリンピック 2017が開催されました(出場選手は親子を含めて約6000名)。日産スタジアム運営ボランティアの半数は前日から袋詰めなどの準備作業を行い、当日は朝7時から成績・記録、賞品準備・配布、記録証配布などの担当に分かれて活動しました。

開会式では主催(日刊スポーツ新聞社、及び公益財団法人横浜市体育協会)や特別協賛(全国農業協同組合連合会「JA 全農」)の代表者、そして日産スタジアム小倉名誉場長によるご挨拶がありました。その後、ゲストの有名スポーツ選手と小学生代表による聖火リレーが行われました。オリンピック女子マラソン金メダリストの高橋尚子さんと6年生代表が最終走者になって、バックスタンド中央に設けられた聖火台に点火しました。選手宣誓を行う男の子と女の子の代表選手は緊張した

様子でしたが、はきはきと元気よく選手宣誓を行いました。午前の最初の競技は親子マラソンで、1年生から6年生の親子1200組が1kmのコースを走りました。日頃の練習の成果を発揮して大会新記録でゴールする親子がいる一方、マイペースで日産スタジアムのコースを気持ちよく走る親子もありました。中にはゴール直前で転んでしまった子どもに手を差し伸べて、手を繋いで仲良く走り終わる親子もいてほほえましい姿でした。ゲストの高橋尚子さんは親子ランナーを励ましながらか一緒に走ったり、またゴール前でハイタッチをして、笑顔でランナーを迎えていました。どの競技も熱戦で選手の力が拮抗していましたが、1位を勝ち取った選手の誇らしげな顔や、残念ながら1位になれなかった選手の悔しさをにじませる顔など、今回

の大会に向けた素直な気持ちがそれぞれの選手の表情に表れていました。応援しているご父兄の方々も、1位になった子どものすばらしい走りを見て歓声を上げたり、惜しくも勝てなかった子どもには慰めの言葉をかけたり、勝っても負けても家族全体で楽しんでいました。午後にはJA全農杯チビリンピック小学生8人制サッカー大会の決勝戦が、スタジアムピッチ上で行われました。全国の各地区大会を勝ち抜いた10チームが集まって、その中から勝ち上がってきた江南南サッカー少年団とサガン鳥栖U-12が決勝戦に進出しました。初出場の江南南サッカー少年団がサガン鳥栖U-12を2対1で破り、優勝の栄冠に輝きました。チビリンピックの競技の上位入賞者にはJA全農から提供されたいろいろな農産物が賞品として渡されました。1位から3位の入賞者にはメダルが授与されて、豪華な賞品が入った袋が渡されました。賞品を受け取った選手は重そうな袋をかかえて、うれしそうな笑顔を見せていました。今回の大会にはゲストに有名スポーツ選手や横浜F・マリノスの選手が参加して、小学生の出場選手と交流する機会があって、今日の出来事はきっと良い思い出となることでしょう。

1位になった選手のインタビューで「オリンピックのマラソン選手になるのが夢です」と語る小学生ランナーもいました。今回の参加者の中から将来のオリンピックが誕生してくれるかも知れません。来年のチビリンピックは第40回の記念大会です。

日産スタジアムで行われる大会(予定)を目指して日々練習を重ねている小学生を来年も暖かく迎えたいと思います。(久保勝美)



開会式に参加した選手たち



親子ランナーを励ます高橋尚子さん



優勝賞品を受け取る江南南サッカー少年団の選手のみなさん

## たくさんの子供たちが笑顔で田植えを体験！

～ 新横浜公園で恒例の田植えと花の種植えを行いました ～



6月11日(日)、梅雨は中休みとなり薄曇りの元、恒例の「親子で楽しく米作り、植えて覚えよう花の名前」のテーマで、田植えと花の種植えの行事が新横浜公園で行われました。事前に運営ボランティアのグリーン&クリーン部会メンバーが中心となって、事前に田起こしや代掻きを行って、田植えや花の種植えに備えました。

今回の行事には一般公募で申し込みを行った家族も含めて、19家族(大人29名、子供33名、合計62人)が集まりました。班分けをして家族の方々が順番にもち米の苗の田植えと花の種植えを行いました。過去、田植えの行事に参加した子どもたちもいましたが、初めて参加する子どもたちは恐る恐る田んぼの水に足をつけていました。ボランティアから田植えのやり方を教わりながら、ゆっくりゆっくりと田植えをして行きました。慣れない作業で泥に足を取られて、尻もちをつく子どもが何人もいましたが、笑顔が絶えませんでした。

花の種植えのやり方は泥だんごを数個の小さいボール状に丸めて、肥料と百日草の種を中に入れて種だんごを作りました。そして花壇に種だんごを植えて、最後に水を撒きました。



参加者に田植えについて説明する運営ボランティア



田んぼに入って田植えをする子供たち



花壇に種だんごを植える子供たち



矢車草の花束を摘み取る親子

田植えと花の種植えが終わり子どもたちは苗が大きく育って欲しいとの願いを木札に書きました。そして自分が田植えをした場所の前に木札を立てました。最後に参加者と運営ボランティアとツアーボランティアとスタジアム職員が田んぼの横で集合写真を撮りました。参加者は運営ボランティアからつきたての美味しいお餅をもらって、最後まで楽しんでいました。



楽しい田植えを終えて、笑顔の親子の皆さんと運営ボランティアの方々とで集合写真

参加者が帰った後に、今回の関係者がボランティアルームに集まりました。その際に倉知公園管理局長からご挨拶がありました。「今日のイベント開催に際して、運営ボランティアの方々にはご協力頂きまして、本当にありがとうございました。参加されたお子様連れのご家族が大変喜んでいただき、良い思い出作りになったと思います。苗の植え付けを今日終わらせて、この後に案山子作りや稲の刈入れまでの貴重な体験をすることができます。また種だんごを作って、花壇に種付けを行いましたので、きっときれいな花が咲くことでしょう。今までボランティアの皆さんが事前準備を行っていただき、これから田んぼの草取りをして、やっと収穫になります。どうぞこれからも宜しくお願い致します。」

最後に、参加したボランティアから本日の活動に対する感想や今後の活動をより良くするための意見が出されました。参加された家族が笑顔になって楽しんでくれましたので、とても良かったです。またボランティアの方々も楽しめる活動となり、有意義だったと思います。今回の活動に携わった運営ボランティア、スタジアム職員の方々、大変お疲れ様でした。特にグリーン&クリーン部会のメンバーが中心となって活動を支えて頂きました。心から感謝します。(久保 勝美)

## 第5回日産スタジアムランニング合コン・ 5時間耐久リレーマラソン開催

7月2日(日)、幸いにも雨は降りませんでしたが、気温が30℃を超えて厳しいコンディションの中、「日産スタジアムランニング合コン・5時間耐久リレーマラソン」が開催されました。「ランニング合コン」では初めて顔を合わせる男性チームと女性チームがひとつのチームを作って、5時間リレーマラソンに挑戦しました。初心者ランナーでも参加しやすく、チーム一丸となって完走した後はメンバーの結束が高まりました。「5時間耐久リレーマラソン」はチーム対抗戦で5時間以内にスタジアムを何周できるかを競い、上位チームは表彰されました。



またチーム対抗の42.195kmリレーマラソンのタイムで順位を決定する競技もありました。チーム内で相談して走る順番や走る距離を自由に決めることができるので、チームワークの良さが勝負の行方を決めることになりました。

運営ボランティアは、受付・参加賞引き換え、荷物預かり、リレーゾーン整理、給水(スタジアムの中やスタジアムの外)、スタジアム出入口の担当ポジションに配置されて、参加したランナーのサポートを行いました。予想以上に気温が高かったため、走り終わったランナーは真っ先に給水エリアに集まって、ボランティアから水の入った紙コップを受け取っていました。中には2杯目をもらうランナーも大勢いて、用意したペットボトルはどんどん減っていきました。午後には準備したペットボトルが無くなり、追加のミネラルウォーターを運び入れるほどでした。

水を飲み干してからボランティアに「ありがとう」と感謝の言葉をかけるランナーがたくさんいました。ランナーとボランティアが心暖まるコミュニケーションを交わす場となり、ボランティアとしてやりがいを感じる時でした。活動に携わった運営ボランティア、スタジアム職員の方々、大変お疲れ様でした。(久保勝美)



給水サービス中にたくさんの感謝のこぼれをもらいました



走り終わったランナーに給水するボランティア



レース後の身体を冷やす水の提供



5時間耐久リレー・マラソンのスタートの様子

## ブリヂストン×日産スタジアム・ サイクルパークフェスティバル



9月23日(土)、ブリヂストン×日産スタジアム・サイクルパークフェスティバルが開催され、スポーツ自転車に乗ってレースに出場することを楽しみにしている参加者が全国から集まりました(出場者は、785組・1752人)。日産スタジアムと新横浜公園の特設コース(1周 3.05km)を使って、キングの部・3時間の部・2時間の部に参加登録した出場者が自慢の自転車で競い合いました。このサイクルパークフェスティバルの特徴として、初めて自転車レースに参加する初心者もレース経験者と一緒に同じコースで出場できる点です。また小学5年生以上が参加できるので、親子でファミリーチームとして出場している人もいました。自転車の種類としては100万円以上の高額なレース用自転車を使用している参加者がいる一方で、ママチャリに乗ってマイペースでのんびりと走っていく参加者もいました。

運営ボランティアは、フラッグマーシャルとしてサイクルパークフェスティバルの参加者をサポートしました。レースをより安全に、より楽しくするためにこの大会ではフラッグマーシャル制度を導入しています。コースに沿った20か所のポストに38名のボランティアが配置され、事故やトラブルが起きた場合、黄旗・赤旗・白旗を振って参加者に注意を促します。また無線を使って現場の状況を大会本部に連絡します。

大会のマーシャル長に日産スタジアムへ来場いただき、大会に向けて9月3日(日)にフラッグマーシャルの講習会が行われました。ボランティアは大会当日に必要な無線の使い方や旗の振り方といった実技練習をしました。フラッグマーシャルの役割の重要性から、事前の実技練習は必須となっています。

9月23日のサイクルパークフェスティバルの午前の部は8時25分にスタートしました。出場者は日産スタジアムの陸上競技トラックを走り、マラソングートから日産スタジアムの外周コースへ出ます。新横浜公園の直線コースでは加速してスピードを競い合います。コースの後半では急坂(大会内名称:ピレネーピーク)を登り、再びマラソングートから日産スタジアム場内に戻ってきます。スタートした時は小雨が降り続いて、コースには水たまりが出来ている状況でした。特にピレネーピークの坂の上にU字カーブがあって、滑り易いのでレース前にボランティアが溜まった水をモップでコース外に排水しました。それでもこの付近では滑り易く出場者は減速して通過する注意が必要でした。このピレネーピーク付近に配属されたフラッグマーシャルは拡声器を使って、出場者に注意を促しましたが、自転車の操作をちょっと誤っただけで落車(転倒)が発生し、また多くの自転車が集中してU字カーブを通過するので自転車同士の接触がたびたび起きました。前方のコースで落車やマシントラブルが起きていることを知らせるために、黄旗を振って参加者に注意を促しました。午後の部は12時55分にスタートしました。雨は止んでいましたが、U字カーブは滑り易い状況が続きました。フラッグマーシャルはレースの最後まで参加者に注意喚起を行いました。

普段、本格的なスポーツ自転車レースを近くで見る機会が無いので、参加者の真剣な表情や長時間(2時間の部、3時間の部、5時間の部)のレースを走り抜ける強靱な脚力などを感心しながらフラッグマーシャルを行いました。小学生5年生や6年生の出場者がスピードでは大人にはかなわないものの、ピレネーピークを必死に登ってレースを楽しんでいる様子を見て、思わず声援の言葉をかけました。最近では女性の参加者が増えてきて、ウェアや自転車に拘りを持って男性顔負けの走りを見せていました。スポーツ自転車によるレースは人気が高く全国で多くの大会が行われていますが、日産スタジアム・サイクルパークフェスティバルは初心者を含めて多くの自転車愛好家が毎年楽しみにしている大会です。長時間ペダルを漕ぎ続けて完走した参加者が笑顔でレースを終えることができ、ボランティアとして活動をやった良かったと思いました。準備段階や活動に携わった運営ボランティア、スタジアム職員の方々、大変お疲れ様でした。(久保勝美)



拡声器を使いピレネーピーク下で活動するフラッグマーシャル



ピレネーピークの上で活動するフラッグマーシャル(左側)



ピレネーピークの急坂を登りきった親子チーム



日産スタジアム(陸上競技トラック)を快走する出場者

## 「実りの秋の収穫はあいにくの雨でした」

10月7日 今年の秋は長雨が続きこの日も雨、春に田植えに参加した皆さんには中止を伝えて、ボランティア有志のみで稲刈りを実施しました。開始の10時ごろになると少し小雨になり、たまたま雨で学校の運動会が中止になった小学生のひと家族が稲刈りに参加しました。長雨でぬかるむ泥の中、2時間の奮闘で刈り取りからフェンスへのはざかけ(稲を束にして干す)まで無事に終了しました。



フェンスへはざかけを行いました



稲刈りに参加した小学生

10月20日 田圃冠水。台風21号上陸の予報に接し、はざかけた稲束を急速避難搬出しスタジアム内の通路に運びました。果たしてその晩に鶴見川は越流し新横浜公園は冠水しました。(安田 十四雄)

### ボランティア事務局 会議議事録(要約)

日時:平成29年4月2日 場所:ボランティアルーム

出席者:安田、大家、久保、羽賀、大橋、ボランティア担当 横田

#### 1、各部会報告

##### 1) 運営部会

- ア. 4月21日の新人研修参加者人数7名の予定。
- イ. 高校生・大学生の運営ボランティア希望者がここ最近増加傾向になっている。

##### 2) リーダー部会

- ア. マリノス戦の活動やローテーションがスムーズに出来た。
- イ. リーダー不足により、中心になっているリーダーに負担がかかっている。
- ウ. 早朝の活動があるときは、2交代制シフトの検討。
- エ. 冬場の防寒着の検討。
- オ. 今年度もリーダー制度を継続、29年度から倉橋さん、大谷さんがリーダーに立候補してきたので、1年間活動の中で研修を兼ねてリーダーの役割を習得してもらう。
- カ. ワンダーリーダーを今年度からサブリーダーに名称変更。
- キ. リーダー制度(運営ボランティアガイド変更)  
自薦またはリーダー部会にて推薦された人は、サブリーダーとして登録される。その後、サブリーダーとしての経験を経たのち、リーダー部会よりリーダーとしての資格を認められた人は、リーダー部会の推薦を得て事務局会議でリーダーとして登録される。(承認)

##### 3) 研修部会

- ア. 2月5日に手話講習会実施。参加者運営ボランティア約70名、スタジアム職員約30名
- イ. 単発の研修ではなく継続的に実施要望あり。  
(a) 活動中心になっているので、ボランティアの仲間づくりの検討。
- ウ. 運営ボランティアのフォローアップ研修の検討。

##### 4) イベント企画部会

- ア. ボランティアの懇親、交流を図るイベントを四季毎に企画・実施する。
- イ. 春は花見の会 4/2(日)13:00実施、夏はビール工場見学、秋はハイキングまたはウォーキング、冬は恒例のしめ縄作りおよび餅つきを実施。

ウ. 改修工事に伴い、日産スタジアムでの活動の可否が未定。

5) グリーン&クリーンクラブ(環境・美化部会)

- ア. 29年度も日産スタジアム市民活動支援事業の申請を行い許可済。
- イ. 田んぼでは、苗植え、案山子づくり、稲刈り及び花壇の手入れを実施する。
- ウ. PR方法の検討(多くの市民が活動に参加できるようにPRの検討)
- エ. 港北区役所で募集しているオープンガーデンに申請を行い許可された。(4月～5月中)
- オ. 活動が身内だけになっているので、オープンにした活動にしないといけない。
- カ. チラシを作製して町内会、スーパーの掲示板や、区役所等に持って行くなど、PR活動の強化。

6) 情報部会

- ア. 情報部会に新しい部員が入りスムーズな「ボランチわ」の原稿提供ができる体制ができた。
- イ. 年2回のボランチわの発行を目指す。

7) その他

- ア. マリノス古川社長さんがマリノスホームゲームの運営ボランティア活動前に、毎回ご挨拶に来られた。
- イ. 運営ボランティアのパソコン改修のため、業者に連絡を取り、ボランティアさんの意向を反映するように調整中。
- ウ. Eメールを持っていない人のためハガキで活動案内を送付している方に、ハガキからFAXへの変更依頼を検討。
- エ. ルヴァンカップの活動集計をマリノスケット配布回数(7回以上)にカウントしなかったため8名の方にご迷惑をかけた。

※ INFORMATION ※

平成30年1月の活動日程

月日	イベント名	集合時間	解散時間	要員
1月8日(月・祝)	日産スタジアム凧揚げの日	8:30	15:00	30人
1月13日(土)	よこはま国際ちびっこ駅伝	7:30	16:00	50人
1月14日(日)	よこはま国際ちびっこ駅伝 (雨天予備日)	(7:30)	(16:00)	(50人)
1月26日(金)	日産スタジアム駅伝 袋詰め作業	13:00	16:00	30人
1月27日(土)	日産スタジアム駅伝	9:00	16:00	60人

(集合時間など変更することがありますので、活動参加者は事前に確認してください)

✂ ✂ ✂ ✂ ✂ ✂ 編集後記 ✂ ✂ ✂ ✂ ✂ ✂

- ✂ 今年は8月、9月、10月にかけて長雨や台風の接近で不順な天候でした。夏から秋にかけて旅行や行事を計画されていた方の中には、何らかの影響を受けた人もいたのではないのでしょうか。11月になってやっと晴れの日が続いて気持ちの良い秋らしい気候を楽しむことができました。その中で11月4日にラグビー日本代表戦の運営ボランティア活動に参加することができて、本当にうれしい気持ちでした。しかし、喜んでばかりはいられません。2年先に迫ってきたラグビーワールドカップ2019に、どのようにボランティアとして参加できるか、またどんな活動をして来場者のためにお役に立つことができるのか、楽しみと不安が入り混じった気持ちです。東京2020オリンピック・パラリンピックと共にラグビーワールドカップ2019の千載一遇のチャンスを生かしていきたいと思います。(久保 勝美)
- ✂ 本号は編集部久保さんのご努力で、これまでなかなか掲載できなかったJリーグ以外の活動を皆さんにお伝えすることが出来ました。アンケートで活動予告はお伝えしておりますが、これでサイクルパークフェスティバルやランニング合コンなどの活動内容がお分かりいただけたと思います。皆さん、来年からのこれらの楽しい活動にどうぞご参加ください。
- ✂ 早くも師走となりました。年が明けますとラグビーワールドカップそしてオリンピック・パラリンピックのボランティア募集の動きが始まります。ボランティア事務局としては、できるだけ早く募集の時期や内容を皆さまにお知らせできるよう、各方面にアンテナを張りめぐらして情報収集をしていく予定でおります。多くの皆さんがラグビーワールドカップ2019、東京2020オリンピック・パラリンピックのボランティア参加計画を立てられることを期待しております。(安田 十四雄)

編集・発行：日産スタジアム ボランティア事務局 情報部会

〒222-0036 横浜市港北区小机町3300 日産スタジアム Tel: 045-477-5030 FAX: 045-477-5002



## 【平成 29 年度（2017 年）Jリーグ 横浜 F・マリノス戦 7 回以上活動参加者名簿】

11 年度：井出清四郎、加藤仁樹、大輪正美、小林正行、安田十四雄、大家啓伸、能澤末喜、米口功一、  
上田敏彦、原敏美、大橋靖子、久保正文、菊池喜代勝、野見山捷一、中藤早苗、瀬尾孝子、  
津久井喜代子、佐藤淳子、志保田俊男、鈴木克明、筒井由美子、横塚雅美、原橋清美、小沼久恵、  
佐藤辰夫、佐野平、石川比呂子、尾形玲子、川尻和子、荒川栄、花井玲子、田代勝子、小磯寿美子、  
平川みゆき、田中龍男

15 年度：小野愛生、岩崎俊一郎、大石忠雄、谷野幸雄、土手健治、堀満夫、村田 博

16 年度：大野和夫、押尾正明、小原俊治、富田民男、石原軍、鷹嘴芳之、富田聖子、森はつえ

17 年度：

18 年度：南川圭一、松本久子、中澤ふさ子

19 年度：斉藤義隆、倉橋セイ子、三井卓、渡邊福子

20 年度：堀内弘一

21 年度：長谷川俊一、伊知地晴美、平尾隆郎、坂口孝信、瀬戸清、松田君代、伊奈川守男、岩下輝雄、  
岩下和子、佐野佳子、大金信夫、尾形忠實

22 年度：百瀬正勝、石井美由紀、朝倉道昭、三浦秀俊、増田秀男

23 年度：林久枝、松尾忠史、諸田 謙、藤巻トヨ、菊池佳子

24 年度：中尾吉宏、柏倉康夫、海老原美代子、玉井美和子、塚田貢、塚田美保

25 年度：羽賀眞晤、中村信武、阿部淳、内海直親、漆原明美、川和啓二、井野隆司、山田巖

26 年度：鳴田東光、須藤美与子、轡田憲行、岡山義和、吉原建志、瀬谷 裕

27 年度：倉橋丈夫、林泰信、荒井禎尚、中居和美、古川和明、村岡晴夫、大谷圭吾、本道治男

28 年度：小屋喜志子、大森儀江、堀越保博、稲葉泰、星川尚美、久保勝美、高村美慶、吉田敏、  
阿部英樹、藤岡寛

29 年度：青山亜紀、市川功子

\*合計：120 名（2017 年 11 月 28 日作成）

以上

<<上記 割当者の方へお知らせ>>；

未だ、マリノス（株）さんからの連絡は有りませんが、例年ですと 3 月末から 4 月上旬の活動日に 301 号室にて観戦予定日の発表を行います。毎年、2、3 回の活動日で、観戦希望日が埋まってしまいますので、なるべく早く活動に参加して希望日を記入して下さい。

尚、本件に関しましては電話やメールでの問合せ出来ません。